

SDGsをお考えの皆様へ

新型コロナウイルスの世界同時拡散は、SDGs17 の目標の内の 3. すべての人に健康と福祉をターゲット 3(2030 年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する)に対し、地球の自然環境から行動が遅く対応が一時的なものであると大事に至ることを、身をもって知らしめる強烈なメッセージと捉えるべきです。人類が地球に安全に住み続けるための持続可能な開発目標は新型コロナウイルスとの共存を余儀なくされたことにより、新たに 2021 年体制として他の 16 の目標も含めて優先順位を明確にした、目標と解決策の早期実行が必要な段階になったと考えを新たに行動しなければ新型コロナウイルスの教訓を得たとは言えません。

SDGs の基をただせば 2000 年にスタートしたMDGsの成果と教訓、又 2015 年の COP21 パリ協定を共通の基準として強化された人類全体が地球環境を壊すことなく安全安心の元に暮らせる社会を 2030 年までに達成させる目標でした。

しかし 2020 年に拡散した新型コロナウイルスは、人類が経験したことのない規模で未だに解決した先の未来が見えてきません。私たちの甘い目標や対策では地球環境は許してくれないことを教えてくれたと解釈すべきです。

よって新たな SDGs として 2021 年体制(新型コロナウイルスとの共存)化での新基準で優先順位を明確にし、合理的かつ効果的な目標と対策を即座に実行すべきです。

自然界は常に小さな警告を発してくれています。身近では東京オリンピックトリアスロン会場の水質に問題があり衝撃的を受けたことが記憶に新しいですが、過去の実例を見れば改善できます。すでに我々は大気汚染を改善するために、生活ごみの分別集荷、分別処理が効果的であることを確認しています。海洋汚染の改善も同じプロセスで効果が出る事は想像できます。改善点は下水道への流入については、雑排水のグリストラップ、汚水排水のペーパー負荷の改善、節水ウォシュレット化など一部ありますが、雨水の集排水路は、未だゴミが入り易く、至る所に堆積物発生し降雨ごとに流れ込み、害虫の住処や出入り口となっている問題があるにもかかわらず、未だに改善が進んでいません。この課題の解決策はかつての合理化を重んじる生活ゴミの一括処理施設と同様に、下水処理場での一括処理に頼ることを容認している風潮を変えることが必要です。

私たちの生活空間を守る雨水の集排水路を SDGs の目線で維持管理を確認すると、自然環境を開発して都市化する際に、開発許可申請及び建築確認申請が必要で、自

然の恵み雨水であります。排水については、厳しい条件を付けられ許可が下ろされています。その理由は自然環境を強制的に変えたことによる雨水の透水率が悪くなり、河川への流れ込みが早くなる等の弊害があるため、その許可により第三者に不利益が出ない使用と維持管理が義務付けられています。しかしながら竣工し使用が始まると、本来第一順位でやるべき自然環境を守るために定められた維持管理をすることより、使用者利益を守るためや、安全を担保する維持管理を優先させることが正しい管理と評価されています。

しかし地球環境から見れば使用者のエゴであり自然界は全く望んで無い維持管理であることから必然的にその弊害としてSDGs 3, 11, 13, 14, 15の課題の一つは雨水の集排水路にあることは確認されています。

雨水集排水路の維持管理の問題は、清掃終了後からゴミの流入が始まり、排水勾配の正常化を維持するには、毎日の溝上げが必要になる為合理的でないと判断し、支障が出そうになったら行うという風潮が支配的であることです。現状の雨水集排水路の構造においてはゴミと雨水は何時でも流入出来る構造であるため、このままでは改善は見込めません。

そこで、排水勾配、排水断面を維持する事を前提に、雨水のみを集水する極細分別集水化を行ない、グレーチング上で堆積が起きない大きさのゴミと雨水を分別して集水させ、排水を安定させる方法を提案いたします。透水性舗装や分別集水マットなどの物理的に極細分別集水化できる素材を敷設したのち、集排水口の上部に残る分別ごみを維持管理で処理することが、大気汚染を改善した実績から有効と判断できます。

雨水の集排水口を極細分別化する事は同時に、野生の蚊などの害虫の出入りも不可能になることから敷設後の雨水枳には蚊の発生が無くなり、IGR剤等の薬剤による水質不安も無くなり、安心して雨水を貯めて利用することが可能になります。普及とともに雨水の集排水路はゴミ移動インフラ、蚊の養殖場と揶揄されたことが嘘のような雨水利用のインフラとして適切に使えとともにSDGs 3, 11, 13, 14, 15の課題の原因が一つ無くなります。

これからSDGsに参加頂くことをご検討の皆様、更に地球環境の健全化を目指したい皆様、施設管理をされている皆様、雨水の集排水路の健全化で合理的かつ効果的に社会問題を改善し次世代に不安を残さないようにしませんか！